

様式第6号

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和 5年 3月31日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市佐土原町下那珂 2940 番地 82
名 称 広瀬小学校区地域づくり協議会
代表者の氏名 井上 聖子
電話番号 0985-73-1120

令和4年5月27日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第19条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

- (イ) 事業実施報告・収支決算（見込）書
- (ロ) 事業別収支計算書
- (ハ) 積立金管理状況報告書
- (ニ) 宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届書
- (ホ) その他

(様式第6号)

令和4年度 事業実施報告・収支決算(見込)書

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

1 総括

3年目のコロナに対応すべく、感染対策を取りながら計画された事業を実施してきた中、天候不良で中止したスケッチ大会、グラウンドゴルフ大会を除いた事業は計画通り実施することができ、コロナで閉塞感のある巣籠状態の地域のつながり、交流を曲りなりに保つことができた」と総括している。

2 収支決算

(1) 収入の部

(単位:円)

項目	予算	決算	差	備考
基礎交付金	1,696,600	1,696,600		
繰越金	418,621	418,621		
積立金	100,000	100,000		令和2年度車検積立金
負担金		49,500	49,500	
その他の収入				
合計	2,215,221	2,264,721	49,500	

(2) 支出の部

分野	事業名	実施年数	予算	決算	差	備考
防	地域安全確保推進に係る事業	17年目	417,000	308,459	△108,541	
環・再	石崎浜・石崎川流域再生利用促進に係る事業	16年目	186,000	158,052	△27,948	
健	健康づくり地区民交流事業	17年目	507,221	434,431	△72,790	
再・伝	ふれあい交流推進活動に係る事業	16年目	95,000	77,287	△17,713	
教	中学生ボランティア事業	14年目	64,000	60,500	△3,500	
教	協議会講座事業	7年目	28,000	26,572	△1,428	
再	広報事業	17年目	713,000	680,547	△32,453	
再	地域リーダー育成事業	10年目	149,000	101,059	△47,941	
福	制服等の譲渡会事業	2年目	56,000	52,065	△3,935	
		年目				
	繰越金		0	365,749	365,749	
	合計		2,215,221	2,264,721	49,500	

3 実施報告

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	地域安全確保推進に係る事業	実施年数	17年目
事業期間	開始：平成18年度	終了：なし	
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 ともに支え合い、安全で、安心して暮らせるまち ◎地域住民が共同し、自ら防災防犯の意識を高め、安全・安心な住みやすいまちづくりに努める。		
目的 (期待される効果)	防災講習会、防犯パトロール、見守り活動、危険箇所改善など地域でできる活動を通して住民の防災・防犯意識を高め、子どもから高齢者まで誰でも安心して暮らせる地域づくりを推進する。		
事業内容・	<p>(1) 防災に係る支援と啓発活動</p> <p>ア 広瀬小学校・広瀬中学校合同避難訓練支援 計画の段階では合同の訓練が予定されていたが、実施されなかった。</p> <p>イ 防災講話講習会の実施 会場：広瀬地区交流センター 実施時期：9月4日 内容： 昨年に引き続き防災士ネットワークの方から、熊本地震のボランティア経験を生かした講話及び役に立つ非常持出品や備蓄品はどんなものがあるか、展示品を手に取りながら講習会を実施した。</p> <p>(2) 防犯パトロールの推進活動 会場：広瀬小学校区内 実施時期：通年 内容：校区内を隊員25名で週に1～2回青パトで巡回し下校時刻に合わせた見守りと防犯活動を実施した。</p> <p>(3) 危険箇所改善推進活動 場所：校区内全域 実施時期：5月～12月 内容：自治会から上がってきた16件の危険箇所の改善を関係機関に要望を行い6件が改善された。</p> <p>(4) 子どもみまもり隊活動支援活動</p> <p>ア、みまもり隊活動支援 場所：広瀬小学校校区内 実施時期：通年 内容：自治会へ毎月の児童下校時刻の配布 見守り隊員備品提供（帽子7、ベスト7、腕章4、旗5）</p> <p>イ、みまもり隊関係者連絡会議の開催と感謝集会への参加 会場：広瀬地区交流センター、広瀬小学校 実施時期：6月15日（関係者連絡会議）：1月20日（感謝集会） 内容：各地区見守り隊から2名及び小中学校長、警察等23名で実施した。 佐土原交番所長からは広瀬地区の交通事故（児童の接触事故）や声掛けなどの不審者情報や事例の説明、通学路での指導や取り締まり、パトカーによる巡回に重点を置いているとのコメントがあった。 広瀬小学校児童が見守り隊の方にダンスや合唱の披露、感謝の手紙などを隊員へ贈って日頃の感謝を伝えた。</p>		
事業費	308,459円		
対象者	地域住民		
参加者数 (内訳)	年度	令和4年度	令和3年度
	一般参加者	236人	296人
	スタッフ	10人	9人
	合計	246人	305人
※事業内容に応じて男女別や年代別データ			
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄は報道で分かっているつもりですが、なかなか実感がわかりません。 ・改めて備蓄の大切さがわかった。 ・備蓄等について家庭、自治会で検討する材料となり、ぜひ対応していきたいと思います。 ・見守り隊の方毎日ありがとうございます。 ・登下校の見守りご苦労様です。 ・青パトを見ると安心します。 ・歩道橋がリニューアルされてきれいで安心です。 		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A	学校と意思の疎通を図り、担当部会、自治会からの要望や提案を参考にして事業を計画実施している。	広報	⑤事業の周知	A	A	住民参加型の事業は回覧チラシを使って周知し、参加者が特定されている事業は当事者に案内している。
	② 住民の参加	B	B	各事業とも感染対策を取りながらも、参加制限を緩やかにして、住民の方に参加していただいた。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	安全安心は住民すべての願いであり地域づくりの取り組みとして最優先で行っている。	事業の効果	⑦住民の満足度			B
	③ 各種団体との連携	B	A	全ての事業で自治会と連携協力している。防犯パトロールは民生委員、防災講習会は防災士ネットワークの協力をいただいている。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 防災講習会で、備蓄品の現物を手に取り、購入場所などを参加者が再確認できて災害への備えの啓蒙をさらに高めてよかった。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未・済	
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[2] 環境・地域再生に係る事業

事業名	石崎浜・石崎川流域再生利用促進に係る事業	実施年数	16年目												
事業期間	開始：平成19年	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 自然と共生し快適に暮らせるまち ◎自然に親しみ環境を考えるまちづくりに努める。														
目的 (期待される効果)	清掃活動や環境学習・講習会、カヌー教室、アカウミガメ学習会、スケッチ大会など石崎浜・石崎川流域の活動を通して自然とふれあい、環境保全活動と啓蒙の向上に努める。														
事業内容・手段	<p>(1) 石崎川河川浄化啓蒙推進活動 会 場：広瀬地区交流センター 実施時期：6月～7月 内 容：化学肥料や農薬を使った農業や普段の生活活動が自然環境に悪影響を与えている環境講話とEM活性液・ぼかし、EM石鹸づくりの講習会を実施した。両講習会に36名が参加した。</p> <p>(2) 石崎浜・石崎川河口流域清掃活動 場 所：石崎浜、石崎川なぎさ橋周辺及び自転車道 実施時期：8月～11月 内 容：12月のビーチクリーン活動に10名が参加。(5月・8月はコロナの為中止) 11月には広瀬中学校のボランティアの生徒197名と地域の人総勢296名が参加して自転車道のなぎさ橋周辺のペットボトル、プラ、缶などのごみ回収活動を実施した。</p> <p>(3) カヌー教室と環境学習 場 所：石崎川栄橋付近北側堤防周辺 実施時期：7月24日 内 容： 大淀川学習館講師による石崎川に生息するウナギについての講話を実施後、NPO2団体との共催による親子カヌー教室を開催した。カヌー13艇、子ども31名、保護者22名、広中のボランティアの生徒7名、スタッフ等昨年よりも多い総勢77名が参加して実施した。</p> <p>(4) スケッチ大会の開催 予定した1回2回目とも準備したが雨のため止むなく中止した。</p> <p>(5) アカウミガメ学習会 場 所：石崎海浜 実施時期：8月7日 内 容： 今年度より当局の指導により、子ガメの観察会を止めて、孵化場所の観察やカメに詳しい元カメ保護委員の方からアカウミガメの産卵や孵化の話聞いた後、子ガメたちが孵化する海岸の清掃を行った。</p>														
事業費	158,052円														
対象者	小学生、中学生及び地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>439人</td> <td>465人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>66人</td> <td>59人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>505人</td> <td>524人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	439人	465人	スタッフ	66人	59人	合 計	505人	524人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	439人	465人													
スタッフ	66人	59人													
合 計	505人	524人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅の生ごみを処理するのに勉強になった。 ・地域外の参加ですが、他の地域にも環境に良い情報が欲しいです。 ・廃油が石鹸で再利用ができるのが良いと思いました。 ・カヌーの二人乗りが多い方がたくさんのおれると思います。 ・子供(幼児)も楽しんでいました。 ・スケッチ大会が雨で流れて残念です。 ・子ガメは見られなかったけど、足跡が見られたからよかった。 ・海に遊びに行ったら、ごみを持ち帰ったり、ゴミ拾いをしようと思いました。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A	参加者のアンケート、PTA、小中学校の関係者、自治会、部会員のなど意見を参考に行っている。	広報	④ 事業の周知	A	A	地区回覧チラシ及びカヌー教室、アカウミガメ学習会は学校の協力を得て全校生徒へのチラシ配布を行った。
	② 住民の参加	A	A	EM で一部屋内の場面はあったが、カヌー教室、アカウミガメ学習会は、自然の中での事業であったため、親子づれの積極的な参加者が多かった。		事業の効果	⑤ 課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③ 地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	当協議会が目的としている自然環境への啓蒙を促す、環境保全活動として取り組んでいる。	事業の必要性		⑥ 住民の満足度	A	A
	③ 各種団体との連携	B	A	NPO との連携や自治会、学校、PTA からも協力を得ている。		有・無			
良かった点・改善点等	アカウミガメ学習会は今までの子ガメ観察会のように、子ガメを見ることはできなかったが、現場で数多くの産卵場やカメの足跡の観察ができ、参加者全員でゴミ拾いをするなどして、石崎浜の現実を子供たちが知る機会となりよかった。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[3] 健康づくりに係る事業

事業名	健康づくり地区民交流事業	実施年数	17年目
事業期間	開始：平成18年	終了：なし	
地域魅力発信 プランとの関連	<p>基本目標 活気あふれ、いきいきと働けるまち ◎老若男女の住民が健康で明るいまちづくりに努める。</p>		
目的 (期待される効果)	<p>元気げんき祭り、グラウンドゴルフ大会、ペタンクを通して、健康づくりと地区民の交流親睦を推進する。</p>		
事業内容・手段	<p>(1) 第18回元気げんき祭り 会場：宮崎市立広瀬中学校体育館 実施時期：11月27日 内容：コロナの感染対策を徹底して、グラウンドゴルフフリー、ペタンク投げ、障害物競走の競技と抽選会を計画通り実施した。今回は特別ゲストとして地元出身のJリーグ、テゲバジャーロの佐藤颯汰選手も競技に参加して総勢280名の参加者も大いに盛り上がった。また今回も広瀬中学校の生徒40名がボランティアスタッフとして競技運営やコロナ感染対策を手伝ってくれて大会がスムーズに進行できた。</p> <p>(2) 自治会交流グラウンドゴルフ大会 天候不良のため中止 当初予定した10月9日は前日準備した後雨となり中止、翌週順延日も雨のため中止した。</p> <p>(3) スポーツレクレーション「ペタンク」 会場：広瀬地区交流センター 実施時期：9月25日（講習会） 10月30日（ミニ大会） 内容：2年目となり今回は、講習会に加えて、ミニ大会を実施し、講習会とミニ大会に64名が参加した。</p>		
事業費	434,431円		
対象者	地域住民		
参加者数 (内訳)	年度	令和4年度	令和3年度
	一般参加者	273人	326人
	スタッフ	71人	107人
	合計	344人	433人
※事業内容に応じて男女別や年代別データ			
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・元気げんき祭りは体育館での開催でしたが、コロナ対策がしっかりされていて安心して楽しめました。 ・昨年よりも子供が多くにぎやかで楽しかったです。 ・私の地区も参加したかったが、人が集まらず残念でした。 ・元気げんき祭りのグラウンドゴルフフリーは、ボールがいろいろあって面白いです。 ・障害物競走では、体育館を一周するので応援が多くて盛り上がります。 ・グラウンドゴルフを楽しみにしていたので、来年は何とかできますように！ ・ペタンクは試合になると、みんな真剣で歓声上がるほど盛り上がりました。 ・ペタンクを毎年続けてください。 		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項	
	本年度	前年度			本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A	広報	④ 事業の周知	A	A	自治会回覧チラシ及び元気げんき祭りは、小中学校全校生徒へチラシを配布した。
	② 住民の参加	B	A		事業の効果	⑦ 課題解決への作用	B	A
効果的・効率的な取組み	③ 地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	事業の必要性		⑧ 住民の満足度	A	A
	④ 各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気げんき祭りの手渡しせんぐのお菓子の個別の袋詰めを単品菓子から袋入り菓子に変更して、作業時間の短縮を図った。 							
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済
	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済



※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[4] 地域再生・伝統文化に係る事業

事業名	ふれあい交流推進活動に係る事業	実施年数	16年目
事業期間	開始：平成19年	終了：なし	
地域魅力発信 プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち</p> <p>◎郷土の文化を大切に、子供と大人が触れ合えるまちづくりに努める。</p>		
目的 (期待される効果)	郷土の音頭や昔のあそび等を通して子供から大人まで幅広い地区民の交流と伝統文化の普及継承を推進する。		
事業内容・手段	<p>(1) 伝統芸能の普及活動</p> <p>ア 広瀬音頭普及活動</p> <p>会 場：総合支所駐車場、広瀬小学校</p> <p>実施時期：7月～10月</p> <p>内 容：さどわらんまつり会場での披露、踊りの講習（広瀬小学校1年生）、広瀬音頭の誕生についての話（広瀬小学校3年生）を実施。広瀬小学校全児童による運動会での総踊り実施。</p> <p>イ 曾我兄弟踊り広瀬小学校公演</p> <p>会 場：広瀬小学校体育館</p> <p>実施時期：11月2日</p> <p>内 容：広瀬小学校6年生の総合学習の時間に大炊田地区で150年前から継承されている鎌倉時代の曾我兄弟踊りの公演と敵討ちがあった鎌倉時代の時代背景の講話を実施した。</p> <p>(2) 郷土の偉人啓次郎及び昔の遊びなどの学校支援活動</p> <p>会 場：広瀬中学校</p> <p>実施時期：6月～1月</p> <p>内 容：広瀬中学校3年生の啓次郎の日の学習で啓次郎のアメリカ留学についての講話を実施。広瀬小学校の1年生の「昔のあそびを楽しもう」の時間に地区の方21名が参加して子供たちに竹馬、竹とんぼ、おじゃみ等の遊びをおしえる支援をした。</p>		
事業費	77,287円		
対象者	地域住民		
参加者数 (内訳)	年 度	令和4年度	令和3年度
	一般参加者	1283人	1216人
	スタッフ	11人	39人
	合 計	1294人	1255人
※事業内容に応じて男女別や年代別データ			
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・広瀬音頭の本格的な舞台での披露は、久々なので興奮し緊張した。 ・今の1年生は踊りを覚えるのが早くて楽しい。 ・小学校が広瀬音頭を絶やさず、毎年の運動会の総踊りとし継承してくれて本当にありがたい。 ・広小の今年の曾我兄弟公演では、時代背景や、人物の紹介等の説明があり、子供たちも踊りの意味が分かり楽しく鑑賞できたように思います。 ・子供たちは昔のあそびに夢中になり、跳ねたり跳んだりして楽しそうでした。 ・昔のあそびでは、ボランティアの方も寒さを忘れて童心に帰って子供から元気をもらわれたようでした。 		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項		
	本年度	前年度			本年度	前年度			
住民主体の街づく	① 地域ニーズの把握	A	A	広瀬音頭は広く地区民に周知し普及を図るため、地域の祭り及び小学校での普及活動を主体的に行った。また曾我兄弟踊、昔のあそび等は学校の要望を取り入れ実施した。	広報	⑤ 事業の周知	A	A	学校関連事業は一般には周知していないが、昔のあそびのボランティア募集はチラシ回覧を行った。
	② 住民の参加	A	A	小学校の広瀬音頭、曾我兄弟踊り、昔のあそび、中学校の啓次郎講話は学校行事の一環で児童と教職員及びボランティアの住民が参加した。		⑥ 課題解決への作用	A	A	小学校の児童を通じた広瀬音頭の普及活動、曾我兄弟踊りの公演、中学3年生を対象とした啓次郎の講話何れも、広瀬地区の文化、遺産でありそれらの周知と継承活動に役立つものと思う。また昔のあそびでは子供と地区の人の交流ができ地域で子供を育てる一助ができたものと思う。
効果的・効率的な取組み	③ 地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	当協議会は郷土の文化を大切に、子どもと大人が触れ合えるまちづくりに努めることを目的としており、文化の継承と触れ合いづくりの当該活動は妥当な取り組みである。	事業の効果	⑥ 住満足度	A	A	小中学生に郷土の文化、遺産に触れ学ぶ機会を設けたことは、学校関係者はもちろん、子どもたちも充実した学びができたものと思う。
	③ 各種団体との連携	B	B	大炊田高嶺会、民生委員、学校と連携して事業を実施した。		事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> ・曾我兄弟踊小公演では、保存会の踊りの前に佐土原歴史資料館の担当者に、鎌倉時代の当時の時代の背景と佐土原との関係についての話を取り入れて、踊りの由来をより分かりやすくした。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>								
	<意見への対応>					対応	未・済		
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>								
	<意見への対応>					対応	未・済		

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[5] 地域教育に係る事業

事業名	中学生ボランティア事業	実施年数	14年目
事業期間	開始：平成21年	終了：なし	
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち ◎少年少女の中学生が思いやりのある誇れるまちづくりに努める。		
目的 (期待される効果)	ボランティアを通して中学生の郷土愛と地域社会への参加を推進する。		
事業内容・手段	(1) 広瀬中学校生徒による地域ボランティアの活動の実施 場 所：石崎川なぎさ橋周辺 実施時期：11月20日 内 容：清掃活動に応募したボランティアの中学生(197名)と地域の人たちが協働して、プラ、ペットボトル、缶、ビンなど軽トラ3,5台分のごみ回収作業を実施した。		
事業費	60,500円		
対象者	中学生及び地域住民		
参加者数 (内訳)	年 度	令和4年度	令和3年度
	一般参加者	273人	305人
	スタッフ	23人	20人
	合 計	296人	325人
※事業内容に応じて男女別や年代別データ			
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予定日が雨で流れて翌週に順延になり生徒たちの参加が心配されたが昨年よりも多い生徒がボランティアに出てきてくれてうれしかった。 ・ 自転車道の東側松林の中には、プラやペットボトルが大量にあり大変でした。 ・ 2年目の参加でしたが、今年は昨年よりもゴミが多かったので張り切りました。 ・ 不法投棄をしないでほしいです。 ・ 地域づくりの方は、地域のためのいろんな活動をして頂いてありがとうございます。 ・ 校長先生や教頭先生とも一緒にごみ拾いができて楽しかったです。 ・ きれいになった松林や自転車道を見ると嬉しくなります。 ・ 一人一人がゴミに関心をもって取り組めば、広瀬の自然は輝くと思います。 ・ 石崎浜がきれいになってほしいです。 ・ 広瀬中学校の生徒はまじめで、我々大人も誇りにしています。 ・ 今年で2年続けて参加しています。来年もぜひ参加して広瀬をきれいになりたいです。 ・ 早くコロナが収まってマスクなしで作業がしたいです。 		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A	地域で子供たちを育てる地域の思いと、生徒たちの地域貢献の願いを受けて実施している。	広報	④ 事業の周知	A	A	中学校を通して各クラスにボランティア募集のチラシを配布し周知を図った。 地区からの一般参加者は自治会長へ依頼して参加者を募っている
	② 住民の参加	A	A	雨で順延になったが、中学生は昨年よりも参加者は増えた。地域の方は昨年より2割ほど少ない参加者となった。		事業の効果	⑦ 課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取り組み	③ 地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の子どもは地域で育て、同時に子どもと大人が地域を綺麗にするという共同活動が地区の活性化につながるという観点から取り組んでいる。	事業の必要性		⑧ 住民の満足度	A	A
	③ 各種団体との連携	A	A	学校、自治会、青少協の協力を得ている。		事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> ボランティアに参加した数人の中学生が、作業終了後の帰り道で、道端に散乱しているゴミを拾っており、この事業が中学生の明るい未来に役立つものを感じた。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません

[6] 地域教育に係る事業

事業名	協議会講座事業	実施年数	7年目												
事業期間	開始：平成28年	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち</p> <p>◎講座を通して自己研修ができるようなまちづくりを目指す</p>														
目的 (期待される効果)	<p>広瀬の近代史を知る機会を提供し郷土愛への醸成を推進する。</p> <p>また、様々な講座を行い、知識の習得や住民相互の交流を図る。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) 協議会講座</p> <p>会 場：広瀬地区交流センター</p> <p>実施時期：7月～8月</p> <p>内 容：講座</p> <p>神代ごまを楽しもう</p> <p>活動をそれぞれに、継続していくために（心の整え方）</p> <p>広瀬城の城門第2弾</p> <p>※広瀬地区の埋蔵文化についてとSDGs講座はコロナ感染者急増で医療非常事態宣言が出されたため中止とした。</p>														
事業費	26,572円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>35人</td> <td>79人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>10人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>45人</td> <td>99人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	35人	79人	スタッフ	10人	20人	合 計	45人	99人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	35人	79人													
スタッフ	10人	20人													
合 計	45人	99人													
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・広瀬城の城門の講話で、広小の校長室にある広瀬城門の由来を記す板が発見されたことを知りますます興味がわいてきた。 ・城門の復活ができればいいなと思う反面大変とを感じる。 ・神代ごまに、孫と参加したが、大人がやっても面白い。 ・広瀬のほとんどの人たちは、佐土原の伝統玩具の神代ごまを知らないなので、このような企画を毎年やってほしい。 ・マインドフルネスで、ストレスを解消して隣人との関係をよくしていきたい。 ・横文字だけど、マインドフルネスは自分にもできそうなので早速試してみようと思いました。 ・お互い様の気持ちで、いろんな方に接していきたいと思いました。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

		評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項	
		本年度	前年度			本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	B	A	地域の方からの要望や、部会員の提案を参考にしている。	広報	⑤ 事業の周知	A	B	講座ごとにチラシを全地区に回覧した。
	② 住民の参加	B	B	神代ごまは、全員が親子又は3世代での参加者であったが、広瀬城の城門の話、心の整え方の講座は、一人での参加者がほとんどであった。			事業の効果	⑥ 課題解決への作用	B
効果的・効率的な取り組み	③ 地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	イベントに偏りがちな、地域活動に地道ではあるが、郷土について学ぶことは有意義なことと思っている。	事業の効果	⑦ 住民の満足度			B
	③ 各種団体との連携	B	B	歴史同好会、歴史資料館にお願いした。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[7] 地域再生に係る事業

事業名	広報事業	実施年数	17年目
事業期間	開始：平成18年		
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 ◎広報のツールを使い地域の住民と協議会の橋渡しの役割を担う		
目的 (期待される効果)	広報を通して協議会への理解と地域づくりの活性化を推進する。		
事業内容・手段	(1) 協議会活動の広報・知名度アップの活動 会場：広瀬地区交流センター及び各事業会場 実施時期：通年 内容：年3回の「広報ひろせ」の発行とHPの運営を実施した。		
事業費	680,547円		
対象者	地域住民		
参加者数 (内訳)	年度	令和4年度	令和3年度
	一般参加者	人	人
	スタッフ	4人	4人
	合計	4人	4人
※事業内容に応じて男女別や年代別データ			
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の活動には参加できませんが、HP・広報誌で活動がよくわかります。 ・HPの事業紹介で写真が昨年より多くて面白いです。 ・知っている方の活動している写真があると協議会が身近に感じられます。 ・毎回広報誌を楽しみにしていますという声が多く聞かれる。 		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A	部会員や学校、地域の方からの情報や意見を反映するようにしている。	広報	④ 事業の周知	A	A	広報誌は年3回発行し全世界配布している。HPは事業の紹介等を行っている。
	②住民の参加						事業の効果	⑤ 課題解決への作用	A
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	協議会の発信ツールであり協議会の取り組みとして当然妥当な取り組みである。	事業の必要性	⑥ 住民の満足度			A
	④各種団体との連携								
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[8] 地域再生に係る事業

事業名	地域リーダー育成事業	実施年数	10年目												
事業期間	開始：平成25年	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち ◎人材育成のできるまちづくりに努める。														
目的 (期待される効果)	研修を通して自治会活動の活性化を推進する。														
事業内容・手段	<p>(1) リーダー育成研修事業</p> <p>会 場：都城市未来創造ステーション会議室</p> <p>実施時期：1月14日</p> <p>内 容：視察先 都城三股農福連携協議会</p> <p>都城市で農業を営む岡元氏が発起人となり大吾病院（藤本メディカルシステム）、介護事業所などが共同で立ち上げた、認知症と農業体験を結び付けた都城三股農福連携協議会が取り組んでいる、農作業による認知症改善プログラム、認知症にならないためのたった2つの思考のコツなどを映像、資料をまじえて、当協議会代表理事長の岡元氏よりうかがった。困りごとと困りごとを組み合わせ、共に解決していく新たな取り組みを、各自治会でも課題解決に生かせたらと感じる研修であった。</p>														
事業費	101,059 円														
対象者	自治会長、協議会役員														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>7人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>参加者兼務1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>7人</td> <td>13人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	7人	12人	スタッフ	参加者兼務1人	1人	合 計	7人	13人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	7人	12人													
スタッフ	参加者兼務1人	1人													
合 計	7人	13人													
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで開催日が延び延びになって、事務局も大変と思う。 ・コロナが激増して、辞退者が数名出て残念です。 ・ハウス農家の自治会長は、1月は農繁期で参加できないので、できたら時期を7月から8月にしてほしい。 ・今回の都城三股農福連携協議会研修は、近い将来、自分の家族でも起こり得ることだと思い、聞く価値は十分にあった。 ・出来たら、都城三股農福連携協議会の講話を広瀬地区交流センターで開催してほしい。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	B	B	自治会長、当協議会の要望を聞いて視察地の選定を行っている。	広報	④ 事業の周知	B	A	自治会長会部会および当協議会役員会で案内している。
	② 住民の参加	B	B	自治会長、協議会の役員を対象にして参加を募っている。			事業の効果	⑤ 課題解決への作用	B
効果的・効率的な取組み	③ 地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	自治会の活性化は、地域づくりの原点であり、自治会長、当協議会の役員研修は、当協議会が取り組むべき事業として当然である。	事業の効果	⑥ 住民の満足度			A
	③ 各種団体との連携	B	B	視察選定において県、市の地域担当課から情報を得ている。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> 自治会長及び地域リーダーの記載について、対象者が自治会長であれば自治会長のみ記載する、または地域リーダーの範疇を明確にした方がよい。 <意見への対応> 自治会長、地域づくり協議会の役員を地域リーダーの範疇とする。						対応	未・済	
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『⊕』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『⊖』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[9] 地域福祉に係る事業

事業名	制服等の譲渡会事業	実施年数	2年目
事業期間	開始：令和3年度	終了：なし	
地域魅力発信 プランとの関連	<p>基本目標 ともに支え合い、安全で、安心して暮らせるまち ◎子供にやさしい支え合える地域を目指す。</p>		
目的 (期待される効果)	<p>すべての家庭の子どもたちが家庭環境に関わらず健全で等しく学べる助け合いの機会を推進する。</p>		
事業内容・手段	<p>(1) 制服等の譲渡会事業 会 場：広瀬地区交流センター 実施時期：4月～3月 内 容：卒業などで不要になった、広瀬中学校の制服や柔道着、カバン等を譲ってもらい、令和5年度に広瀬中学校に入学する広瀬小学校の6年生、進級する広瀬中学校の1・2年生で制服等を必要とする対象者への譲渡支援を行い制服等の再活用を図った。</p>		
事業費	52,065円		
対象者	広瀬小学校6年生、中学校の在校生、保護者及び地域住民		
参加者数 (内訳)	年 度	令和4年度	令和3年度
	一般参加者	17人	25人
	スタッフ	6人	9人
	合 計	23人	34人
※事業内容に応じて男女別や年代別データ			
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・転校してきて、時期も時期だけに大変助かりました。 ・後輩の役に立ててうれしいです。 ・本当に助かります。感謝しながら大事に使わせていただきます。 ・このところの物価高でますますやりくりが大変な時大変ありがたいです。 ・協議会を見直しました。 ・これからも続けてほしいです。 ・小学校の体操着なんかがあるといいなと思いますか？ 		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A	保護者や校区内の一般の方からの要望により実施した	広報	④ 事業の周知	A	A	回覧チラシ、HP、学校を通じて対象学年生徒にチラシ配布、HPでの告知	
	② 住民の参加	A	A	回覧チラシ、HPで地域住民へ寄贈参加を呼びかけた。		事業の効果	⑤ 課題解決への作用	A	A	昨年から始めた事業であるが、地域の方の協議会の取り組みに対する評価も高く、地域づくりにプラス効果作用があり、貧困、格差で子供たちが不自由しない、学校生活を送れる手助けとなりうる。また使い捨て改善のSDGsでもある。
効果的・効率的な取り組み	③ 地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の子どもは地域で育てることは、当協議会の使命でもあり、格差社会の中、共助としての協議会のしっかりした取り組みは意義がある。	事業の必要性		⑥ 住民満足度	A	A	住民の方から高い評価を得ている。
	③ 各種団体との連携	B	B	PTA、小中学校		事業継続の必要性		有 無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>									
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						<意見への対応>		対応	未・済
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						<意見への対応>		対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第7号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	地域安全確保推進に係る事業
-----	---------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	208,459	
2	繰越金	0	
3	雑収入	100,000	車検積立金
4	合計 (A)	308,459	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	176,159	<u>①防災に係る支援と啓発活動</u> 16,054 円 お茶(1,680 円×2 ケース) 3,360 円 文具他 12,694 円 <u>②防犯パトロールの推進活動</u> 147,753 円 お茶(1,680 円×6 ケース) 10,080 円 文具他 15,368 円 燃料代 35,356 円 車検整備代 86,949 円 <u>③危険箇所改善推進活動</u> 3,360 円 お茶(1,680 円×2 ケース) 3,360 円 <u>④子どもみまもり隊活動支援活動</u> 8,992 円 お茶(1,680 円×2 ケース) 3,360 円 文具 5,632 円
5	役員費	88,300	<u>①防災に係る支援と啓発活動</u> 8,040 円 保険(50 円×60 名) 3,000 円 葉書(63 円×80 枚) 5,040 円 <u>②防犯パトロールの推進活動</u> 80,260 円 任意保険 34,100 円 自動車税 4,000 円 保険(800 円×39 名,手数料 330 円) 31,530 円 葉書(63 円×160 枚) 10,080 円 振込手数料 550 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料		
10	備品購入費	44,000	<u>②防犯パトロールの推進活動</u> 44,000 円 ドライブレコーダー 44,000 円
11	積立金		
12	合計 (B)	308,459	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	石崎浜・石崎川流域再生利用促進に係る事業
-----	----------------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	129,252	
2	負担金	28,800	EM液 300円×5名 EM石鹸 100円×3名 カヌー教室 500円×54名
3			
4	合計 (A)	158,052	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	5,000	①石崎川河川浄化啓蒙推進活動 5,000円 講師謝礼(2時間) 5,000円
3	旅費		
4	需用費	86,902	①石崎川河川浄化啓蒙推進活動 29,281円 お茶(1,680円×1ケース) 1,680円 EM材料代 18,618円 文具他 8,983円 ②石崎浜・石崎川河口流域清掃活動 1,980円 文具他 1,980円 ③カヌー教室と環境学習 40,132円 お茶(1,680円×3ケース) 5,040円 文具他 6,956円 弁当(31名分) 14,496円 クリーニング(440円×31枚) 13,640円 ④スケッチ大会の開催 2,864円 文具 2,864円 ⑤アカウミガメ学習会 12,645円 弁当(8名分) 2,211円 文具他 10,434円
5	役務費	45,150	①石崎川河川浄化啓蒙推進活動 8,380円 保険(50円×50名) 2,500円 切手84円×70枚 5,880円 ③カヌー教室と環境学習 32,770円 保険(350円×50名熱中症特約付き) 17,650円 切手84円×150枚、63円葉書40枚 15,120円 ④スケッチ大会の開催 1,000円 保険(50円×20名) 1,000円 ⑤アカウミガメ学習会 3,000円 保険(50円×60名) 3,000円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	21,000	③カヌー教室と環境学習 20,500円 カヌー賃借料 20,000円 軽トラック借用料 500円 ⑤アカウミガメ学習会 500円 軽トラ借用料 500円
8	工事請負費		
9	原材料		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	158,052	
収支差額 (A) - (B)		0	

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	健康づくり地区民交流事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	15,810	
2	繰越金	418,621	
3			
4	合計 (A)	434,431	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	10,000	③スポーツレクリエーション「ペタンク」 10,000 円 講師謝礼 (2時間2回) 10,000 円
3	旅費		
4	需用費	357,891	①第18回元気げんき祭り 279,117 円 弁当(80名) 37,152 円 参加賞(300名) 20,160 円 お茶(1,680円×2ケース) 3,360 円 景品(米、菓子) 18,858 円 賞品(みかん、菓子ジュース) 41,747 円 せんぐ用餅代・お菓子代 136,936 円 競技道具他 440 円 文具他 20,464 円 ②自治会交流グラウンドゴルフ大会 64,909 円 参加賞(120人)・賞品(83人) 54,979 円 弁当(500円×16個) 8,000 円 文具他 1,930 円 ③スポーツレクリエーション「ペタンク」 13,865 円 お茶(1,680円×1ケース) 1,680 円 賞品(日用品) 10,593 円 文具 1,592 円
5	役務費	30,040	①第18回元気げんき祭り 21,040 円 保険(50円×320名) 16,000 円 63円葉書80枚 5,040 円 ②自治会交流グラウンドゴルフ大会 6,000 円 保険(50円×120名) 6,000 円 ③スポーツレクリエーション「ペタンク」 3,000 円 保険(50円×60名) 3,000 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	2,500	①第18回元気げんき祭り 2,500 円 軽トラック借用料 5台 2,500 円
8	工事請負費		
9	原材料		
10	備品購入費	34,000	②自治会交流グラウンドゴルフ大会 34,000 円 グラウンドゴルフセット 34,000 円
11	積立金		
12	合計 (B)	434,431	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号) 事業別収支計算書

佐土原地域自治区
広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	ふれあい交流推進活動に係る事業
-----	-----------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	77,287	
2			
3			
4	合計 (A)	77,287	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	5,000	②郷土の偉人啓次郎及び昔の遊び 講師謝礼 (2時間) 5,000円
3	旅費		
4	需用費	53,787	①伝統芸能普及活動 51,518円 弁当(39名) 20,038円 お茶(1,680円×8ケース) 13,440円 クリーニング(440円×6枚) 2,640円 文具他 15,400円 ②郷土の偉人啓次郎及び昔の遊び 2,269円 文具 2,269円
5	役務費	2,000	①伝統芸能普及活動 1,000円 保険(50円×20名) 1,000円 ②郷土の偉人啓次郎及び昔の遊び 1,000円 保険(50円×20名) 1,000円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料		
10	備品購入費	16,500	②郷土の偉人啓次郎及び昔の遊び ラジカセ 16,500円
11	積立金		
12	合計 (B)	77,287	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	中学生ボランティア事業
-----	-------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	60,500	
2			
3			
4	合計 (A)	60,500	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	44,000	①広瀬中地域ボランティア活動 44,000 円 お茶(1,680 円×8 ケース) 13,440 円 ゴミ袋・軍手他 12,688 円 文具他 13,912 円 クリーニング (440 円×9 枚) 3,960 円
5	役務費	15,000	①広瀬中地域ボランティア活動 15,000 円 保険(50 円×300 名) 15,000 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	1,500	①広瀬中地域ボランティア活動 1,500 円 軽トラック使用料 3 台 1,500 円
8	工事請負費		
9	原材料		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	60,500	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号) 事業別収支計算書

佐土原地域自治区
広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	協議会講座事業
-----	---------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	26,572	
2	負担金		
3			
4	合計 (A)	26,572	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	11,000	①協議会講座 11,000 円 講師謝礼 6,000 円×1回 (2時間) 5,000 円×1回 (2時間) 11,000 円
3	旅費		
4	需用費	14,572	①協議会講座 14,572 円 お茶 (1,680 円×4 ケース) 6,720 円 文具等 7,852 円
5	役務費	1,000	①協議会講座 1,000 円 保険(50 円×20 名) 1,000 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	26,572	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号) 事業別収支計算書

佐土原地域自治区
広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	広報事業
-----	------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	680,547	
2			
3			
4	合計 (A)	680,547	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	187,667	①協議会活動の広報・知名度アップの活動 187,667円 広報印刷製本費(52,800円×3) 158,400円 文具他 29,267円
5	役務費	5,040	①協議会活動の広報・知名度アップの活動 5,040円 葉書(63円×80枚) 5,040円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	118,240	①協議会活動の広報・知名度アップの活動 118,240円 サーバー使用料 10,000円 印刷機リース料 108,240円
8	工事請負費		
9	原材料		
10	備品購入費	369,600	①協議会活動の広報・知名度アップの活動 369,600円 カメラ 49,500円 パソコン2台 320,100円
11	積立金		
12	合計 (B)	680,547	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号) 事業別収支計算書

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	地域リーダー育成事業
-----	------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	101,059	
2			
3			
4	合計 (A)	101,059	

(2) 支出の部

バス代	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	12,000	①リーダー育成研修事業 12,000 円 講師謝礼 (6,000 円×2 時間) 12,000 円
3	旅費		
4	需用費	27,629	①リーダー育成研修事業 27,629 円 お茶 (1,680 円×1 ケース) 1,680 円 弁当 (7 名) 4,900 円 文具代 21,049 円
5	役務費	1,000	①リーダー育成研修事業 1,000 円 保険(50 円×20 名) 1,000 円
6	委託料	58,120	①リーダー育成研修事業 58,120 円 バス代 58,120 円
7	使用料及び賃借料	2,310	①リーダー育成研修事業 2,310 円 会議室賃借料 2,310 円
8	工事請負費		
9	原材料		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	101,059	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区
広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	制服等の譲渡会事業
-----	-----------

(3) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	31,365	
2	個人負担金	20,700	300円×68着+100円×3着
3			
4	合計(A)	52,065	

(4) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	48,915	①制服等の譲渡会事業 48,915円 クリーニング(70着分) 44,740円 文具(パイプハンガー、スーツカバー、防虫剤等) 4,175円
5	役務費	3,150	制服等の譲渡会事業 3,150円 葉書(63円×50枚) 3,150円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	52,065	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第8号)

積立金管理状況報告書

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

積立金名称	地域安全確保推進に係る事業
-------	---------------

積立金の収支 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	前年度までの積立額	100,000	R2年度車検積立金
2	積立額		
3	取崩額	100,000	車検のため
4	合計	0	

積立金名称	
-------	--

積立金の収支 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	前年度までの積立額		
2	積立額		
3	取崩額		
4	合計		

積立金名称	
-------	--

積立金の収支 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	前年度までの積立額		
2	積立額		
3	取崩額		
4	合計		

広瀬小学校区地域づくり協議会事業運営積立基金規定

(設置)

第1条 広瀬小学校区地域づくり協議会「以下協議会」が行う、地域まちづくり事業の円滑な運営を図るため、積立基金「以下基金」を設置する。

(目的)

第2条 この基金は次の事業を行うことを目的とする。

- 1、防犯パトロール車を運行する為の車検費用。
 - ・24ヶ月定期点検基本料
 - ・法定諸費用（自動車重量税、自賠責保険料、車検代行手数料等）
 - ・整備費用（追加整備等）

(積立)

第3条 基金は、市から交付される「地域コミュニティ活動交付金」から、車検前年度に車検費用の約半額、6万円を計上し積立てる。

(管理)

第4条 基金は、自主財源の預金口座に保管しなければならない。

(取り崩し)

第5条 次の場合、基金を取り崩すことができる。

- 1、防犯パトロール車の車検を行う場合。
- 2、防犯パトロール車が廃車になり新たに防犯パトロール車が寄贈されなかった場合。

(委任)

第6条 この規定に定めるものの他、必要な事項は会長が定める。

附則

この規定は 平成26年4月1日から施行する。

一部改正 令和 2年4月1日

一部改正 令和 5年4月1日

(様式第 10 号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和 5 年 月 日

宮 崎 市 長 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市佐土原町下那珂 2940 番地 82
名 称 広瀬小学校区地域づくり協議会
代 表 者 の 氏 名 井上 聖子 印
電 話 番 号 0 9 8 5 - 7 3 - 1 1 2 0

令和 4 年 5 月 2 7 日付で交付決定のありました地域コミュニティ活動交付金については、
決算において 3 6 5, 7 4 9 円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越します
ので届け出ます。

添 付 書 類

令和 4 年度収支決算（見込）書